

「科学・技術の哲学」 2006年前期期末試験

問題用紙は合図があるまで裏返さないでください。

・試験時間は90分、教科書、ノート、プリント持ち込み可。

解答は解答用紙に記入のこと。1枚を問題群Aに、1枚を問題群Bに使用すること。どちらの解答用紙にも名前と学籍番号も忘れず記入すること。

必要ならば解答用紙の裏を使ってもかまわない。

解答の順番は問わないが問題の番号は各解答の最初に明記すること。

問題数が多いので時間配分には注意。特にA群で一つ一つの項目に時間を使いすぎないこと。

問題群 A 以下の問いの中から六つ選んで簡潔に答えよ。(6点×6=36点)

- (1) ヒュームの帰納主義批判の要点を説明せよ。
- (2) 過小決定(決定不全)とは何か説明せよ。
- (3) 演繹と帰納の違いを説明せよ。
- (4) ヘルメスの科学とは何か簡単に説明せよ。
- (5) 前進的プログラムと後退的プログラムの違いを簡単に説明せよ
- (6) 構成的経験主義というのはどういう立場か簡単に説明せよ。
- (7) クーンの言う意味でのパラダイムとは何か説明せよ。
- (8) ベイズ主義における事後確率とは何の確率か説明せよ。
- (9) 知的設計論(ID論)とは何か簡単に説明せよ。
- (10) 代表性バイアスとは何か説明せよ。

問題群 B 以下の問いの中から四つ選んで論述せよ。(16点×4=64点)

- (11) ルヴェリエによる海王星の発見の経緯を説明し、この事例がなぜ科学哲学において重視されているか説明せよ。
- (12) ポパーは精神分析学のどういうところが疑似科学的だと考えたか、精神分析学の具体的な主張を一つ挙げて説明せよ。
- (13) 東洋医学における鍼治療は、どういう理論に基づき、どういう方法を使って病気を治すかまとめよ。
- (14) 常温核融合騒動において、フライシュマンとポンズの態度において疑似科学的だと批判されるのはどういう点かまとめよ。
- (15) 科学的实在論を支持するための代表的な論法の名前を一つあげ、内容を説明せよ。
- (16) 正統医学の観点からいって、ある薬が効果を持つかどうか確かめる実験をする上で注意しなくてはならないこととして何があるか一つ挙げて、その問題を回避するためにどういう方法が取られているか、説明せよ。
- (17) 仮説演繹法とベイズ主義的な推論の関係についてまとめよ。